

ネットワーク社労士



新年度をむかえて

支部長 新井重雄

皆様のおかげをもちまして、平成16年度の支部総会も無事終了できました。提案した議案もすべて可決していただきました。御協力に厚く御礼申し上げます。

新年度においても、役員一同承認された事業計画に基づき、その執行に努めてまいります。今年度もご協力をお願いいたします。

今年は、さらなるデジタル化を考えています。ご存知の通り世の中は、電子申請にむけ動き出しております。

熊谷支部においても支部連絡はメイリングリスト活用が進んでおります。多くの会員にメンバー登録をしていただいております。支部運営の重要なツールとなっております。連絡以外の利用として、緊急役員会などの開催もありました。

これらを活用することにより、情報の迅速化や省力化効果などが期待できます。また個人的にはパソコンに慣れ、ひいては電子申請にも入りやすくなるということも考えられます。

ただ、基本は一堂に会しての会議・報告であり、紙ベースであろうと思います。顔と顔を合わせて意志の疎通をはかることは、大切なことと認識しております。一堂に会しての打合せ等またネット上でのコミュニケーション等、適宜使い分けることも大切かと思っております。

いずれにしても、調和をとりながらデジタル化を検討してまいりたいと考えています。

昨年、愛好会が誕生しまして、その活動がはじまりました。

平成16年8月25日発行
埼玉県社会保険労務士会熊谷支部研修部

Vol.6

現在、ボーリング、ソフト、料理、ゴルフ愛好会が登録されてますが、近々にもう一つ発足の予定です。支部のなかでスポーツや趣味を通しての交流の場あるということは、人間関係に潤いを与えてくれるのではないのでしょうか。交流を通して新しいなにかが生まれる予感がします。

他支部や友好士業との懇親試合なども計画されてるようです。みなさん是非参加して下さい。そして楽しんでいただきたいと願っています。

また、昨年は社会保険労務士法制定35周年でした。

人間にたとえれば幼年期・少年期が過ぎ青年期になったところではないのでしょうか。これまでは世間に成長させていただいた。これからは、今まで以上に職責と使命をはたしていかなければならない、さらに社会に貢献しなければならない時をむかえているのではないのでしょうか。日頃現場に接してございまして、事業主や労働者からいろいろ相談を受けますが、我々に対するニーズが高くなってきているように感じています。労働問題、年金問題等々。今まで以上に、責任を果たして期待に応えていかなければならないと思っています。

今年は暑い夏になりましたね。
算定も終わりに近づきました。
皆様、お疲れ様でした。

これから支部事業が、本格的に動き出すところです。制度推進活動や研修などの事業を通して、地域社会に我々を理解していただくこと、さらに社会保険労務士の信用を高め、信頼を得るように努めていきたいと思っております。

どうぞ、今年度も宜しくお願い申し上げます。

(平成16年7月31日記)

メーリングリスト活用に関するアンケート集計結果

前回のアンケートにつきましては、皆様のご協力ありがとうございました。
集計した結果以下のとおりになりましたので、ご報告いたします。

回答総数 30件（メール17件、FAX13件、コメント等4件）

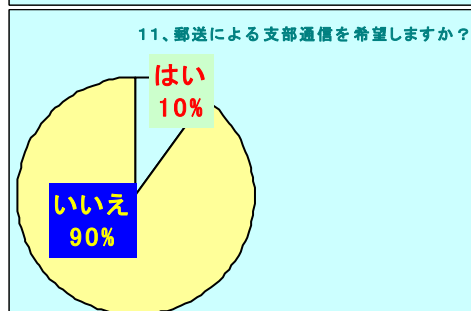
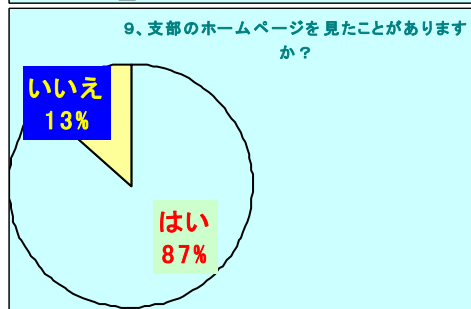
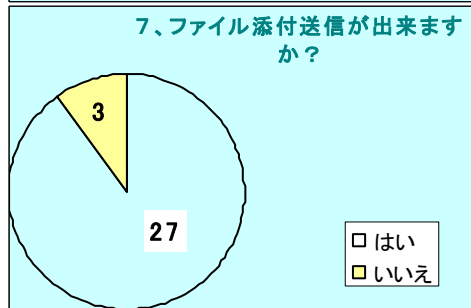
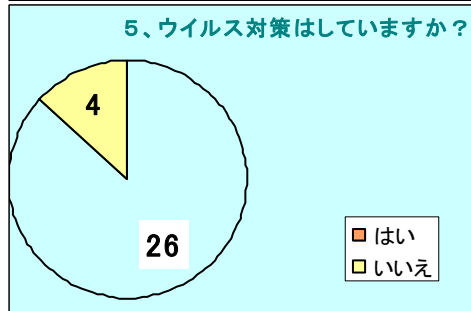
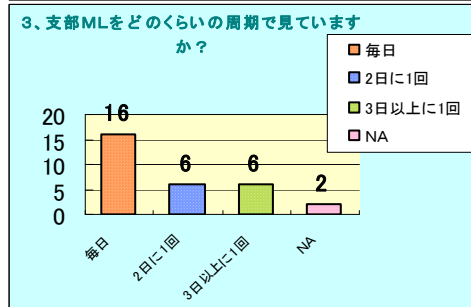
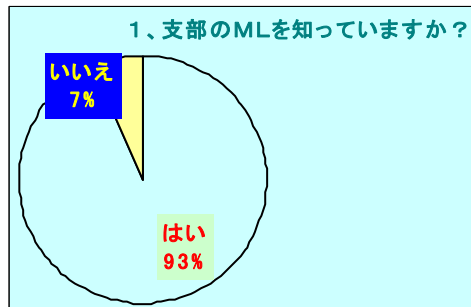
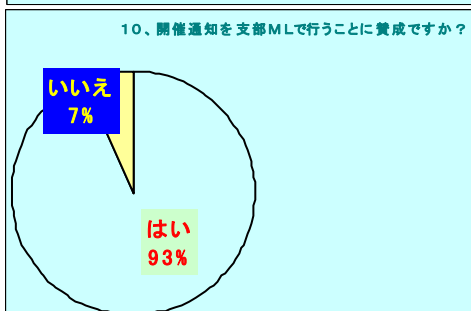
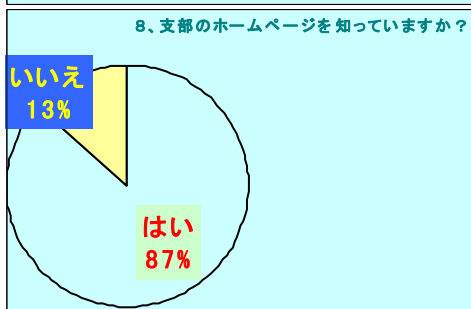
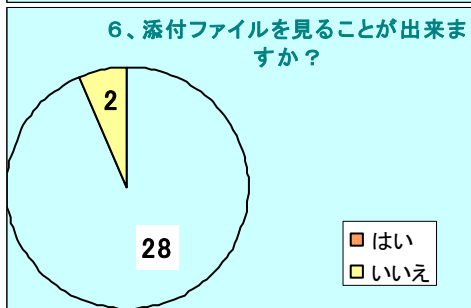
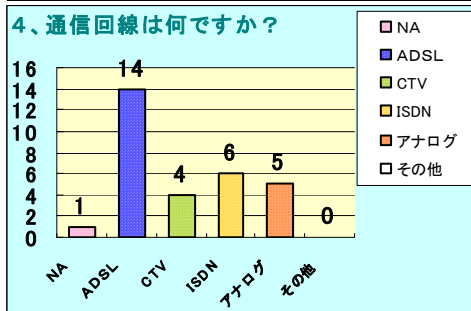
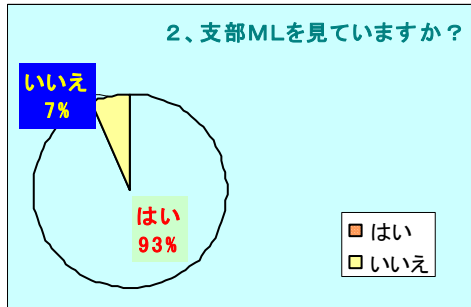
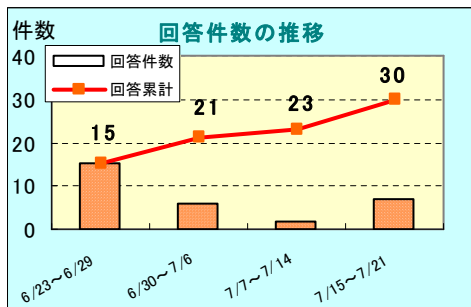
	はい	いいえ	毎日	2日に1回	3日以上1回	NA
1、支部のMLを知っていますか？	28	2				
2、支部MLを見えていますか？	28	2				
3、支部MLをどのくらいの周期で見えていますか？			16	6	6	2
5、ウイルス対策はしていますか？	26	4				
6、添付ファイルを見ることが出来ますか？	28	2				
7、ファイル添付送信が出来ますか？	27	3				
8、支部のホームページを知っていますか？	28	2				
9、支部のホームページを見たことがありますか？	26	4				
10、開催通知を支部MLで行うことに賛成ですか？	28	2				
11、郵送による支部通信を希望しますか？	3	27				

	NA	ADSL	CTV	ISDN	アナログ
4、通信回線は何ですか？	1	14	4	6	5

ご意見

- ① 経費はどのくらい安くなるのか？
- ② 全会員に情報漏れがない様な体制が整うまで総務部にかかる負担は相当なものと思います。会員の希望を優先すると同時に総務部の立場を会員に説明することも忘れずにして下さい。
- ③ 支部のMLによる連絡事項の送受信について、これからはたいへん必要な事ではないかと思えます。
- ④ MLは、今後の電子化等を考慮するに、非常に有意義なものと思います。ただ、現在は過渡期であり、私を含め十分な対応が取れない人が存在するのも事実です。どうか、このような人に対する考慮、指導等をお願い致します。

結果グラフ



行政協力等のお知らせ

現在までに実施済みまたは実施予定の協力者名簿です。今後ともご協力お願いします。

1、年度更新集合受付

5月14日(金) 大石 聡一、小倉 美里、小島 英治
5月17日(月) 鴻野 重雄、野口 高利、川崎 嘉裕
5月18日(火) 堀口 正史、寺山 良子、中村 楊子
5月19日(水) 坂 和道、高山 来和、鳥羽志津子
5月20日(木) 日向 裕道、鈴木 章容、西本 好雄

2、申告書未提出事業電話督促

5月31日(月) 齋藤 馨、木村美知子
6月1日(火) 樋口 頼正、井草 光子

3、算定基礎届集合受付

7月2日(金) 鴻野・内田・坂
7月5日(月) 森・小島・日向
7月6日(火) 西本・目黒・浅見
7月7日(水) 橋本・村山・原口
7月9日(金) 高山・鳥羽・大石(聡)
7月12日(月) 鈴木・小倉・瀬谷
7月15日(木) 寺山(良)・高木・野口
7月16日(金) 中村(楊)・井草・新井(重雄)

4、平成16年度上期本庄市役所年金相談員

4月8日 内田(千)・小倉
5月13日 日向・浅見
6月10日 中村(楊)・飯塚
7月8日 森・高山
8月12日 小野・柴崎
9月9日 野口・木村
10月14日 目黒・中村(楊)

5、平成16年度 埼玉りそな銀行年金相談平日担当者(於:浦和中央支店)

8月3日 小島 英治
8月4日 木村美知子
8月9日 日向 裕道
8月10日 鳥羽志津子
8月11日 中村 楊子

6、平成16年度 埼玉りそな銀行年金相談休日担当者

4月10日 木村美知子 (八木橋デパート) 4月11日 中村 楊子 (八木橋デパート)
5月22日 小島 英治 (本庄市文化会館) 5月23日 日向 裕道 (本庄市文化会館)
6月5日 木村美知子 (深谷市産業会館) 6月6日 中村 楊子 (深谷市産業会館)

7、第36回 社会保険労務士試験実施協力者

理事・監事・政治連盟の幹事
支部会員からの協力者(網掛けは、監督主任者)
鈴木章容、野口高利、高山来和、小倉美里
村山勝、南雲繁男、曾我部節夫、小島英治

開業〇〇年を迎えて

今回は、開業30年・20年・10年を迎えた経験豊かなベテラン会員の方の現在に至るまでの経験談やエピソードです。

開業30年



歳を重ねて回顧の念に浸る

寺山良子

「社会保険労務士って何?」「どういう仕事をする人?」「保険屋さん?」等と言われながらも良き先輩の御指導のもと何とか社会保険労務士(以下「社労士」とする)として社会に認められるようになりました。

私が昭和45年に社労士事務所を開設した当初は、法律ができて間もなく、正直言ってあまり顧問先がありませんでした。役所は私達社労士の質の向上のため、指導支援を惜しまない時代だったと思い起こしています。また、社労士会としても役所の手伝い業務を喜んでしかも無償にて行うことにより、地位を高められるように努力し基礎を築いて来た時代でした。女性社労士は勿論数少なく、支部会員は数十人ということで、監督署における労働保険の年度更新時には何回も協力しなければ間に合わず、親戚の葬儀も失礼して協力をしたものでした。会場は、埼玉銀行等金融機関を使わせていただいたときもあり(当時、銀行が地域のまとめ役的存在だったものです)、監督署職員とのコミュニケーションも盛んで人情味が溢れ、本当にのんびりしていました。

その後、私も熊谷支部長を退いてから久しくなりますが、現在は社労士会員も増え、優秀な若い人達が開業され支部の体制もIT化の時代に突入し、会員の意識も大変な変化を感じられるようになりました。

社会保険事務所の算定届その他の協力についても無償で行った時代が長かったのですが、自分達の質の向上を目指して一生懸命行い、1日〇〇〇〇円のお手当が頂けることなど夢の夢でした。また、昔は何かと情報の提供をいただき仕事を覚えるのにはとても有難い指導体制が整っていたと感じています。支部会も行田支部と合同にて研修旅行を実施したり、熊谷社会保険事務所を例会会場に提供していただき、良き時代だったと感謝しています。

公共職業安定所との関係は、支部会会場として二階を使用させていただいたり、係官からは業務に関係する法律改正について、その都度速やかに資料の提供を受けることができたことは、社会保険事務所と同様でした。

社労士業務も電子申請の時代に入り、益々忙しく感じられるようになってきました。三十年以上も社会保険労務士業務を続けてこられた私自身は、とても幸せな職業生活を送ることができました。これからも健康に注意し、恩返しのつもりで仕事をさせていただきたいと思っています。新しい会員の方々には、現在に至るまでの社労士会の歴史に学ぶべきことを感じ取っていただけることを切に願っております。

開業〇〇年を迎えて

開業20年



20年を振り返って

橋本正行

開業20年というテーマをいただいた。はてもうそんなに時が過ぎてしまったのかと思ってしまう。私がこの仕事を始めたのは親父の事務所に入った81年の秋のことだから、確かに20年余りが経過している。名簿を見てももうちょっとでトップテンに入るところなのだからそれもそのはずだ。

私が入会したときは31歳、最年少だった。上には社労士制度の草創期のお歴々がたくさんいて重みがあったが、ただ試験を通っただけの私には、親しくお付き合いできるような仲間はいなかった。親父が今の新井支部長と懇意だったおかげで、唯一情報の窓口としていろいろとお世話になった。あらためて感謝申し上げる次第である。

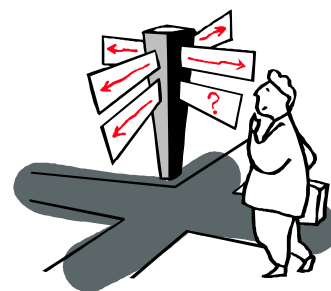
始めは会や組織のことより実務をこなすことで精一杯であった。なにしろ資格を持っているということだけで、事務処理能力は当時の事務所の職員に及びもつかなかったのだから。最初の仕事は労災8号の平均賃金の欄を埋めることだったように記憶しているが、まさか分からないからと職員に聞くわけにもいかず、四苦八苦したものだ。

算定基礎届は全部そろばんで計算した。この方が早かった。FD申請とか電子申請の今日とは隔世の感である。

年金手続きの仕事はすべて私が担当するようになった。複雑怪奇な今の年金制度はさっぱり分からないが、基礎年金制度が出来る以前の年金制度はまだ分かりやすかった。当時は戦時中の隠れた記録を発掘するのに労を費やしたりしたものである。

そんな風に夢中で実務を覚えながら5年が経過した頃、事務所の人事問題をめぐって親父と衝突してしまった。これを機に「お前、ひとりでやってみろ」ということになり、何件かの顧問先をもらって独立した。このときが本当の開業である。

当時私のような開業と同時に何件も顧問先を持っているような2代目は数えるほどで、ゼロから出発している社労士ばかりの中で肩身の狭い思いをしたものだ。「2代目かあ」と鼻白んで見られたこともある。今や社労士制度も成熟期に入り2代目どころか3代目も闊歩している。ちょっとだけ居心地が良くなったかなあと、20年余りを経て感じているこの頃である。



開業〇〇年を迎えて

開業10年



あの頃とこの頃

坂 和道

あの頃とはいつ頃のこと？ 確か昭和40年前後と記憶しているが、当時私は中小企業の猛烈企業戦士で労務担当管理者だった。

求人行脚や定着対策で苦心し、事業主とはよく衝突もした。所詮「労務管理」の重要性を痛感し、よーし勉強しようと思ひ、M大学のゼミに週2回夜間通った。東京在住で交通の便もよく、意欲満々だったので相当ハードな日々を送れたものだと今でも思う。

労働法規の勉強はもちろんだが、対人関係のメンタル面の受講内容が、後になって役立ったと自認している。その後、会社内部では「彼はライセンスマニア」だと陰口を叩かれる程、試験を受けた。安全管理、有機溶剤作業、特定化学物質等作業、衛生管理者、大気汚染防止、水質汚濁防止、危険物取扱1類、同4類など必要かと思つたものに対して勉強して挑み、資格を取得した。

これらの結果は企業に大いに活用されたが、決して報酬に潤いをもたらしたとは言い切れない。しかし大きな知的財産を得た。

昭和43年の社労士法施行に伴い、受験を決意し、社労士に挑戦。初めての試験で例題集やテキストは乏しく、我流の勉強を続けた記憶が残っている。特に私の場合、社会保険関連の知識不十分で、不安を残しながらの受験だったが、第1回試験を無事パス。

後日知つた話だが、やはりゼロ人に一人の合格率だったそうで、私が嬉しく思つたのは、私の来歴で申請すれば一部免責条項があつたのをけて、普通に挑んだ結果だったことであつた。

この頃、「年金問題」が巷で不信感を漂わせ、改正改正を繰り返して果たして納得のできる形に落ち着くものかどうか。ある著名評論家は、ここにいたる歴代内閣や、直接担当当事者の責任は全く逃れ得る余地なし、責任を取れと言いつつ切っている。

私などプロ集団の末端分子としても、年を追って改正続きでのややこしさ実感や、巨大資産運用の数値を知るにつけて、その安全性に首をかしげる不安を感じている。果たして国民に理解される年金に到達できるかどうか。

社労士業務について一言付け加えるならば、電子化対応で業務が減少する可能性はないか、もっと第3号業務への参入はできないか、余計な心配であることを願ひ、たわ言を並べる心境の「この頃」である。

新会員紹介

掲載事項①名前②事務所名③住所
④抱負等一言⑤趣味・生きがい
⑥その他



- ① 大山 太樹
(おおやま たかき)
- ② 大山労働法務事務所
- ③ 熊谷市別府 3-10
サンライズマンション
305号室

- ④ 自らの経験と知識を生かして、幅広い分野で貢献すること。
- ⑤ 水泳・読書
- ⑥ コンサルティング中心の活動ですが、諸先輩のご指導を仰ぎながら、更なる研鑽を積んでいきたいと思えます。どうぞ宜しくお願い致します。



- ① 加藤 登志夫
- ② 埼玉岡部農業協同組合
- ③ 大里郡岡部町岡
1498-1
- ④ 勤務社労士ですが、7月

の人事異動で管理下に配属となりこれからこの資格を生かせるよう努力したいと思っています。

- ⑤ 読書・芝刈り



- ① 飯塚 盛康
- ② 関東経済産業局
- ③ 深谷市上野台 293-7
- ④ 3年後の開業を目指す!
- ⑤ ボディビル

- ⑥ 今年も8月22日開催の埼玉県ボディビル大会に出場予定



- ① 持田 実
- ② JA 共済連埼玉
- ③ 深谷市柏合 956
- ④ 社労士業務をマスターし、年金制度等のアドバイスができる

ようになりたい。

- ⑤ 年3回程度出馬のゴルフ
- ⑥ 会議、研修会等を土曜日・日曜日に開催できないものでしょうか。

- ① 高野 富男
- ② 株式会社エイチ・エム
ケイ



- ③ 熊谷市三ヶ尻 5200
- ④ 34年前に取得した資格を、今一度勉強したいと思っています。
- ⑤ 休日は本庄市武道館で、小中学生と一緒に竹刀を振っています。タバコは吸わずビールを少々。流れる汗はビール味?まさか!

- ① 小野 幸昭 (おの よしあき)
- ② 日立金属熊谷工場
- ③ 大里郡寄居町富田 1192-9
- ④ 自分を磨き上げて、顧問先から頼りにされる社労士になれるよう精進しています。



- ⑤ 食にこだわる!安くてうまい店探したり、自分でも料理して家族が喜ぶ顔見ると楽しい気分になります。
- ⑥ その他(好きな著名人のタイプ)
滝川 クリステル

編集後記

私事ですが、子供が生まれた際、支部からお祝いを頂きありがとうございました。(寺山真澄)



